

令和4年度 5学年「国語科」シラバス

学習の目標

目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力、文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたり書いたりしようとする態度を育てます。また、目的に応じ、内容や要旨を捉えながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てます。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

評価の方法

国語の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○音読・朗読 ○单元テスト ○小テスト
○ワークシート ○作文 ○ノート ○提出物

学習計画

単元名	主な学習内容	家庭学習で取り組めること
<ul style="list-style-type: none"> ○なまえつけてよ ○漢字の成り立ち ○春の空 ○きいて、きいて、きいてみよう ○和語・漢語・外来語 ○日常を十七音で ○古典の世界(一) ○目的に応じて引用するとき ○みんなが過ごしやすい町へ ○同じ読み方の漢字 ○夏の夜 ○カレーライス ○からたちの花 ○どちらを選びますか ○新聞を読もう ○敬語 ○たずねびと ○漢字の読み方と使い方 ○秋の夕暮れ ○よりよい学校生活のために ○固有種が教えてくれること ○古典の世界(二) ○やなせたかし——アンパンマンの勇氣 ○あなたは、どう考える ○冬の朝 ○生活の中で詩を楽しもう ○方言と共通語 ○想像力のスイッチを入れよう ○複合語 ○伝わる表現を選ぼう ○この本、おすすめします ○提案しよう、言葉とわたしたち ○大造じいさんとガン 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に対する自分の考えをもち、互いに発表し合って考えを深める。 ・漢字の成り立ちについて、漢字辞典を使って確かめる。 ・古文の内容を知り、語感や言葉の使い方に興味をもつ。 ・話し手の意図を理解しながら聞き、自分の意見と比較して考えをまとめる。 ・和語・漢語・外来語の由来を知り、語感や言葉の使い方に対する感覚などについて興味をもつ。 ・言葉の選び方や表現の効果を工夫する。 ・古典の文章を音読し、言葉の響きやリズムを味わう。 ・「木原さんの引用カード」を参考に、報告する文章を書く場合」という設定で、引用カードを書く。 ・みんなが過ごしやすい場所になるために行われている工夫について、報告する文章を書く。 ・同訓異字、同音異義語について知る。 ・古文の内容を知り、語感や言葉の使い方に興味をもつ。 ・読んでみたい作家を選び、その作家や作品の魅力を紹介し合い、気づいたことを伝え合う。 ・自分たちの思いや考えが伝わるように音読する。 ・話題を決めて、相手が納得する内容や伝え方を考え、互いの立場や意図を明確にさせて計画的に話し合う。 ・複数の新聞記事を比べて読む効果を知ったり、見出しやリードから記事の要旨をつかんだりする。 ・日常よく使われる敬語の表現に慣れる。 ・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。 ・複数の音をもつ漢字や、特別な読み方をする言葉について理解し、正しく読んだり書いたりする。 ・古文の内容を知り、語感や言葉の使い方に興味をもつ。 ・話題を決めて、集めた知識や情報を関連付けながら、互いの立場や意図をはっきりさせて計画的に話し合う。 ・引用、図表・グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように工夫して書く。 ・漢文を音読し、独特の言い回しやリズムを味わう。 ・伝記を読んで人物の行動や考え方について自分の考えを書き、感想を伝え合う。 ・自分たちの身の回りの問題について調べ、分かったことや考えたことから意見文を書く。 ・古文の内容を知り、語感や言葉の使い方に興味をもつ。 ・詩の優れた叙述を味わいながら、自分なりに工夫して音読したり、詩を楽しむ方法を考えたりする。 ・共通語と方言との違いを理解し、それぞれのよさを考える。 ・事実と感想、意見との関係を押さえて、自分の考えを明確にして文章を読む。 ・語句の構成や変化などについて理解を深め、語句の由来などに関心をもつ。 ・目的や意図に応じた書き方や表現の効果を工夫する。 ・相手や目的を明確にして、推薦する文章を書く。 ・事実と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をする。 ・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述についての自分の考えをもつ。 	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>年間を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・漢字練習 </div> <ul style="list-style-type: none"> ◎「なまえつけてよ」 ・身の回りの文章の中から和語・漢語・外来語を探す ◎「古典の世界」 ・インタビュー、発表の練習 ・目的をもって文章に書く ◎「カレーライス」 ◎「からたちの花」 ◎「新聞を読もう」 ・新聞を読む ・意味調べ、音読 ・敬語を使う ・意味調べ ・同訓異字や同音異義語を辞典で調べる ◎「やなせたかし——アンパンマンの勇氣」 ・意味調べ ・自分の好きな詩を探す ◎「想像力のスイッチを入れよう」 ・意味調べ ◎「大造じいさんとガン」 ・意味調べ ・物語を書く ・1年間に学習した漢字の復習

令和4年度 5学年「算数科」シラバス

学習の目標

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てます。

小数のかけ算やわり算、分数のたし算やひき算、合同な図形、多角形と円、角柱や円柱、百分率などについて学習します。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	整数の性質、分数の意味、小数と分数の計算の意味、面積の公式、図形の意味と性質、図形の体積、速さ、割合、帯グラフなどについて理解している。 小数や分数の計算をしたり、図形の性質を調べたり、図形的面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。
思考・判断・表現	数とその表現や計算の意味に着目し、目的に合った表現方法を用いて数の性質や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。

評価の方法

算数の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○ドリル ○ノート ○提出物



学習計画

単元名	主な学習内容	家庭学習で 取り組めること
1 整数と小数	<ul style="list-style-type: none"> 記数法の考えを通して整数及び小数について理解し、それを計算などに用いることができるようにする。 	
2 直方体や立方体の体積	<ul style="list-style-type: none"> 体積を表す単位「立方メートル」について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 公式を使った体積を求める練習
3 比例	<ul style="list-style-type: none"> 伴って変わる2数量の変わり方を表にまとめ規則性を見付けることで、比例を理解する。 	
4 小数のかけ算	<ul style="list-style-type: none"> 乗数が小数の場合の乗法の計算の意味や計算の仕方について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 小数のかけ算の計算練習
5 小数のわり算	<ul style="list-style-type: none"> 除数が小数の場合の除法の計算の意味や計算の仕方について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 小数のわり算の計算練習
6 合同な図形	<ul style="list-style-type: none"> 「合同」「対応」の意味を知り、合同な図形を描くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 合同な図形の作図
7 図形の角	<ul style="list-style-type: none"> 図形をしきつめる活動を通して、三角形や多角形の性質について理解し、それをを用いて基本的な図形の性質を見いだしたり、調べたりすることができるようにする。 	
8 偶数と奇数、倍数と約数	<ul style="list-style-type: none"> 偶数、奇数及び倍数、約数などについて知り、整数の性質についての理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 倍数や約数を求める練習
9 分数と小数、整数の関係	<ul style="list-style-type: none"> 分数の意味や表し方について理解を深めるとともに、分数、整数の関係について理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 分数を小数で、小数を分数で表す練習
10 分数のたし算とひき算	<ul style="list-style-type: none"> 分数について理解を深め、分数の加減計算の能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 分数のたし算とひき算の計算練習
11 平均	<ul style="list-style-type: none"> 平均の意味を理解し、それをを用いることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均を求める練習
12 単位量あたりの大きさ	<ul style="list-style-type: none"> 異種の2量の割合としてとらえられる数量について、速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 単位量あたりの大きさなどを求める練習
13 四角形と三角形の面積	<ul style="list-style-type: none"> 四角形や三角形の面積の求め方を理解し、それらの面積を求めることができるようにする。また、いろいろな平面図形の面積について、既習の図形の面積の求め方について考えたり、活用したりする能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算によって角の大きさを求める練習
14 割合	<ul style="list-style-type: none"> 2つの数量の関係について、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを理解し、割合を用いて比べたり、割合や百分率を求めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 四角形、三角形などの面積を計算によって求める練習
15 帯グラフと円グラフ	<ul style="list-style-type: none"> 円グラフや帯グラフの特徴とそれらの使い方や、データの収集や適切な手法の選択などを理解し、統計的な問題解決をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 割合や百分率を用いた計算練習やグラフに表す練習
16 変わり方調べ	<ul style="list-style-type: none"> 伴って変わる2つの数量について、表や式、図を用いて変化や対応の特徴を調べ、式に表す。 	
17 正多角形と円周の長さ	<ul style="list-style-type: none"> 正多角形、円周率の意味や直径、円周、円周率の関係について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 円周率を用いた計算練習や正多角形を描く練習
18 角柱と円柱	<ul style="list-style-type: none"> 角柱、円柱の概念や基本的な性質を理解し、立体の観察や表現の能力を高め、空間概念の基礎を養う力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の復習問題

令和4年度 5学年「社会」シラバス

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養います。

国土の環境とわたしたちの生活や産業が密接な関連をもっていることについて学びます。世界の主な大陸・海洋・国の名称と位置と日本の位置・地形・気候から、日本の自然の様子について学習します。そして、公害や災害からわたしたちの生活環境を守ることに繋がっていきます。また、日本の農業・水産業・工業・情報産業について学習し、それらがわたしたちの生活を支える重要な役割を果たしていることを考えます。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解しているとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめている。
思考・判断・表現	我が国の国土や産業の様子に関する社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	我が国の国土や産業の様子に関する社会的事象について、我が国の国土に対する愛情をもち産業の発展を願う国家及び社会の将来の担い手として、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

評価の方法

社会の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○ノート ○提出物

学習計画

単元名	主な学習内容
1 日本の国土とわたしたちの暮らし (1)日本の国土と世界の国々 (2)国土の気候と地形の特色 (3)自然条件と人々の暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や地球儀、資料などを活用して調べ、世界の主な大陸や海洋、主な国の名称と位置、主な国の国旗について捉える。 ・国土の地形や気候の様子を知り、人々の暮らしとの関わりやその特色について捉える。 ・気候や地形などの自然条件に特色のある地方の人々の生活を自分たちの住んでいる地域の生活と比べながら具体的に調べ、国土の自然の特色や自然条件に適応して暮らしている人々の工夫や願いを捉える。
2 未来を支える食料生産 (1)米づくりのさかんな地域 (2)水産業のさかんな地域 (3)これからの食料生産	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の米づくりについて調べ、食料生産に携わる人々が生産を高めるために工夫や努力をしていることや、自然環境を生かしていること、生産や輸送の費用と米の価格への影響などに目を向け、日本の米づくりの現状と課題を捉える。 ・水産業がさかんな地域について調べ、その地域の自然条件や、水産業に携わる人々の工夫や願いを捉える。 ・水産業が、加工や運輸などの仕事と密接に関わっていることや、費用のとの関係、水産資源や自然環境を守りながら漁業を進めていることに気付かせ、これからの水産業のあり方を考える。 ・日本の食料生産が抱えている問題を調べ、食料を安定的に確保する必要性やこれからの食料生産のあり方について考える。
3 未来をつくり出す工業生産 (1)自動車の生産にはげむ人々 (2)日本の工業生産と貿易・運輸 (3)日本の工業生産の今と未来	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の設計から組み立てまでの仕事、シート作りの仕事について調べ、工場働く人たちの工夫や努力、願いを捉えるとともに、自動車工場と関連工場との結び付きについて気付く。 ・完成した自動車を運ぶ仕事について調べ、輸送に携わる人たちの工夫や努力、願いを捉えるとともに、工業生産を支える運輸の働きに気付く。 ・自動車に乗る人たちの願いについて調べ、それに応えるために利便性や安全性、環境に配慮した自動車作りが進められていることに気付く。 ・工業生産を支える貿易や海外生産の働きと、それらを通じた世界各国との結び付きについて調べ、その特色や課題を捉えることから、今後の貿易・海外生産の進め方について考えをもつ。 ・盛んな工業の種類や工業地域、大工場と中小工場それぞれの生産の様子など、日本の工業の特色を捉える。 ・高い技術やアイデアを生かし、心の豊かさをもたらす工業生産が進められていることを捉えるとともに、これからの工業生産について考える。
4 未来とつながる情報 (1)情報を伝える人々とわたしたち (2)暮らしと産業を変える情報通信技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュース番組づくりを例に、情報産業やメディアの役割について調べ、情報が自分たちの生活に大きな影響を及ぼしていることを捉える。 ・情報通信技術の普及により、生活や産業がどのように変化したかを捉え、人々の働き方や仕事に変化が表れていることや課題を整理し、情報通信技術をこれからどのように活用していけばよいかを考える。
5 国土の自然とともに生きる (1)自然災害とともに生きる (2)森林とともに生きる (3)環境とともに守る	<ul style="list-style-type: none"> ・日本では様々な自然災害が起こり、それらは国土の自然の特色と関わっていることを理解するとともに、災害から暮らしを守るための様々な取り組みについて調べ、自分たちにできる取り組みについて考える。 ・国土の保全や水資源の涵養、地球温暖化の抑制など、人々の生活にとって重要な役割を果たしている森林資源を守るため、様々な取り組みがあることを捉えるとともに、自分たちが環境を守るためにできる取り組みや心がけについて考える。 ・北九州市で起きた公害について調べ、被害の様子や原因、公害を克服し起こさないための人々の努力や願いを捉えるとともに、国民の生活環境を守り続けていくためには、物の作り方や暮らし方も見直していく必要があることについて考える。

家庭学習でできること

- 地図帳クイズ ○食べ物の産地調べ
- 本やインターネットなどを使った調べ学習(世界の国、バーチャル工場見学、テレビ局など)

令和4年度 5学年「理科」シラバス

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することを目指します。

植物の発芽や成長の様子やメダカの成長を観察し、人の成長についても興味・関心をもって理解していきます。台風と天気の変化、流れる水の働き、電磁石の性質、ものとのけ方、ふりこの働きについても学びます。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力、生命の連続性、流れる水の働き及び気象現象の規則性について理解しているとともに、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。
思考・判断・表現	物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力、生命の連続性、流れる水の働き及び気象現象の規則性について観察、実験などを行い、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力、生命の連続性、流れる水の働き及び気象現象の規則性についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

評価の方法

理科の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○観察・実験中の技能 ○発言、発表 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○ノート ○提出物 ○観察カード

学習計画

単元名	主な学習内容
1 天気と情報 [1]天気の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・天気の変化は、雲の量や動きと関係があることや映像などの気象情報を用いて予想できることを理解する。 ・天気の変化の仕方について追究する中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。
2 生命のつながり [1]植物の発芽と成長	<ul style="list-style-type: none"> ・植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを観察する。 ・植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを観察する。 ・植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解する。 ・植物の育ち方について追究する中で、植物の発芽、成長とそれらに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。
3 生命のつながり [2]メダカのたんじょう	<ul style="list-style-type: none"> ・魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中の様子に変化してかえることを理解する。 ・動物の発生や成長について追究する中で、動物の発生や成長の様子と経過についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。
4 天気と情報 [2]台風と防災	<ul style="list-style-type: none"> ・天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解する。 ・天気の変化の仕方について追究する中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。
5 生命のつながり [3]植物の実や種子のでき方	<ul style="list-style-type: none"> ・花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解する。 ・植物の育ち方について追究する中で、植物の結実とそれらに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。
6 流れる水のはたらきと土地の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解する。 ・川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解する。 ・雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場面があることを理解する。 ・流れる水の働きについて追究する中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。
7 もののとけ方	<ul style="list-style-type: none"> ・物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないことを実験から捉える。 ・物が水に溶ける量には、限度があることを理解する。 ・物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことや、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができることを実験し、問題解決する。 ・物の溶け方について追究する中で、物の溶け方の規則性についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。
8 ふりこの動き	<ul style="list-style-type: none"> ・振り子が1往復する時間は、おもりの重さなどによっては変わらないが、振り子の長さによって変わることを実験し、問題解決する。 ・振り子の運動の規則性について追究する中で、振り子が1往復する時間に関係する条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。
9 電磁石の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあり、電流の向きが変わると、電磁石の極も変わることを理解する。 ・電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わることを理解する。 ・電流がつくる磁力について追究する中で、電流がつくる磁力の強さに関係する条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。
10 生命のつながり [4]人のたんじょう	<ul style="list-style-type: none"> ・人は、母体内で成長して生まれることを理解する。 ・動物の発生や成長について追究する中で、動物の発生や成長の様子と経過についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現する。

家庭学習でできること

○調べ学習

- ・身の回りのものの働きや仕組みを調べる。(図書館などを利用して)
- ・学習したことから疑問をもってさらに詳しく調べる。

○学習した働きや仕組みが利用されている道具を探してみる。